

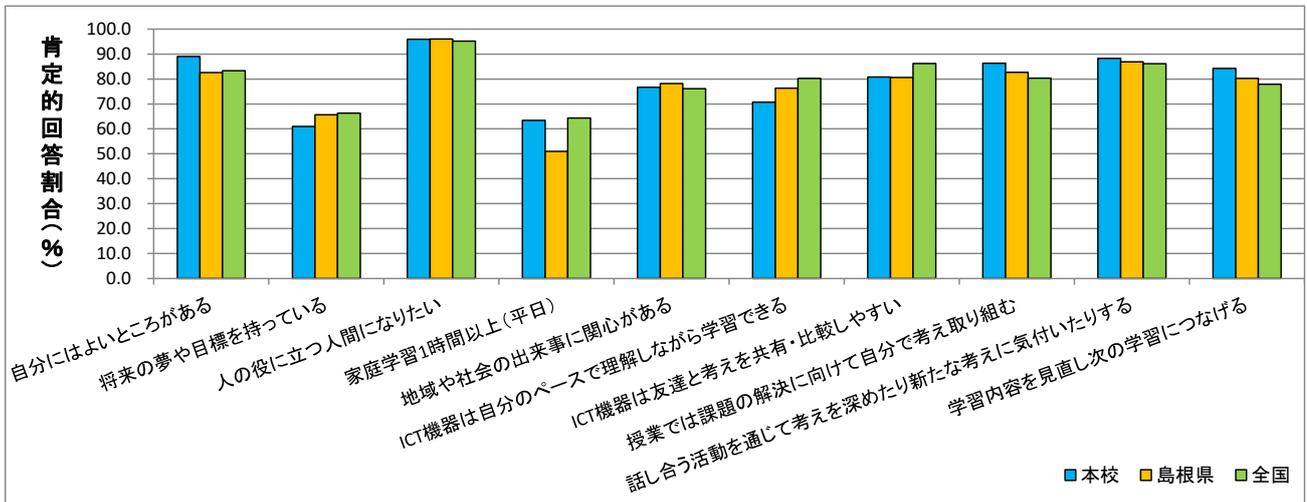
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○多くの項目で各平均を上回った。(学習指導要領の内容) ●話し合いの中の発言について説明したり、内容について理解したりする問題に対して平均より下回った。	・ペア学習やグループ学習で、説明をしたり、考えを述べたりする機会を増やす。 ・説明文や鑑賞文など、たくさんの文章にあたり、内容を理解し要約する機会を増やす。
数学	○図形の移動や基本的な計算、グラフを事象に即して読み取る力は各平均を上回った。 ●データの読み取りや文字を使って説明を行うなど、説明をする問題に対して平均より下回っている。	・数学的な思考を高める問題に多く触れさせることにより、問題解決の方法を考える機会を増やす。 ・グループ学習の中で、お互いに問題の説明を行う機会を設ける。

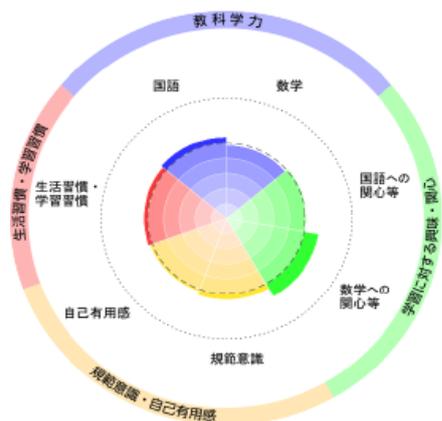
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○話し合い活動を通して、考えを深めたり、新たな視点に気づくことや、学習到達度を自身で振り返ることが、各平均を上回った。 ○家庭学習を習慣化することを意識している生徒も多い。 ●将来の夢や目標をもっている生徒が比較的少ない。 ●個別学習におけるICT機器の活用が平均より下回っている。	・将来の夢や目標をもてるように、キャリア教育との連携をはかる。 ・進路情報の提供を行う。 ・ICT機器の活用を授業や家庭学習に取り入れ、自分のペースで学べる環境を整えることで、個別学習の充実を図る。

(3)質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・しまねの学力育成プロジェクトで本校が取り組んでいる「表現力の高まりのための協働的な学びの場面設定」や「ICT機器の活用」に一層力を入れていく。
・本校の道徳教育の重点項目を「B-(9)相互理解、寛容」「C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実」と設定しているため、生徒たちが協働しながら学校生活を向上させていくことを目指す。
・自身の学習到達度を生徒自身が意識できるような工夫を各授業で取り入れていく。

【受検者数】

151 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。